

## 整備点検方法

メンテナンスプログラムを順守することでご使用のサーモキングユニットをいつもより良い運転状態に維持することができます。以下に一般的なスケジュールを示します。

記載のスケジュールは、従来のクーラントを使用する装置とELCを使用する装置を対象にしています。

出発前	運転1,500時間ごと	運転3,000時間ごと*	1年・運転6,000時間ごと	整備点検項目
				エンジン
●	●	●	●	燃料とエンジンオイルの量点検
●	●	●	●	ベルトの状態と張り具合の適否点検
●	●	●	●	加熱時、高速運転でエンジン油圧点検 (OK表示であれば適正)
●	●	●	●	異音、振動などの点検
●	●	●	●	エアクリーナ詰まりインジケータ点検 (指示が25in.になったら交換)
	●	●	●	燃料タンクから排水し通気口点検
	●	●	●	燃料移送ポンプの入口ストレーナを検査/清掃
	●	●	●	標準 (銀色) 燃料フィルタ/水分離器を交換
		●	●	EMI 3000 (黒色) 燃料フィルタ/水分離器を交換

\* 3,000時間または2年のうち早いほう。

出発前	運転1,500時間ごと	運転3,000時間ごと*	1年・運転6,000時間ごと	整備点検項目
				エンジン（つづき）
	●	●	●	エンジンスピードを点検・調整（高速・低速時）
	●	●	●	エンジン取付け部の状態点検
			●	駆動連結プッシングの状態点検
			●	エンジンクーラントの量を点検
				エンジンオイル交換間隔（下記参照） 注：エンジンオイルとフィルタ交換
	●	●	●	標準の青色（または銀色）オイルフィルタ EMI 3000（黒色）オイルフィルタ。
			-	緑色または青緑のエンジンクーラントは2年ごとに交換
			-	ELC（赤色）エンジンクーラントは5年または12,000時間ごとに交換。 ELCを使用する装置は補助タンクにELCのネームプレートが取り付けられている。
			-	燃料噴射ノズルを少なくとも10,000時間ごとにテスト

\* 3,000時間または2年のうち早いほう。

## 整備点検方法

出発前	運転1,500時間ごと	運転3,000時間ごと*	1年・運転6,000時間ごと	整備点検項目
				<b>電気系統</b>
●	● ● ●	● ● ●	● ● ● ●	バッテリ・ターミナルとの電解液の量を点検 ワイヤハーネス、配線や接続部の損傷の有無点検 ダンパのドアの作動状態点検 (霜取り開始で閉じ、霜取り終了で開く) オルタネータを点検
				<b>マイクロプロセッサ</b>
●				プレトリップテスト実施 (本書のプレトリップテストの説明参照)

\* 3,000時間または2年のうち早いほう。

出発前	運転1,500時間ごと	運転3,000時間ごと*	1年・運転6,000時間ごと	整備点検項目
				構造
● ●	● ● ● ● ●	● ● ● ● ●	● ● ● ● ●	ユニットからの液体の漏れの有無を目視点検 ユニット部品（エアダクトを含む）の損傷、緩み、破損の有無を目視点検 テーパローラベアリング・ファンシャフトとアイドラのオイル漏れとベアリングの目視点検 コンデンサとエバポレータコイル、霜取り配水管を含むユニット全体の清掃 ユニット、燃料タンク、電動モータ取付ボルト、ブラケット、管路、ホースなどすべてを点検 エバポレータダンパドアの調整と作動状態点検
				冷凍
●	● ● ●	● ● ●	● ● ● ●	冷媒の量を点検 コンプレッサのオイル量点検 霜取り時のスロットルバルブ調整圧力を点検 コンプレッサの動作とポンプダウン冷凍システムを点検 2年ごとにドライヤを交換のうえ吐出・吸入圧力を点検

\* 3,000時間または2年のうち早いほう。